



みんな元気に輝いて生きる

Digest

New 「特集」

四季の巡りによって豊かになる大地。とりわけ春の息吹によって芽生えた命は、人の暮らしをも彩り豊かに染めてくれますね。名張育成園でも、この春いろいろな芽生えがありました。それぞれが、いろいろな思いを持って新しい一歩を踏み出し、暮らしを彩りはじめました。

今回は、そのような、様々な芽生えをご紹介します。

YOUブログ:

Information

名張育成園
「園祭り」開催のお知らせ

日時:5月20日(日)10:00~15:00

場所:名張育成園

イベントや模擬店など盛りだくさん!

みなさんお誘い合わせの上ご来園下さい。

vol.6

2012.4.29発行

発行:名張育成園MIRAIプロジェクト 社会福祉法人 名張育成会 〒518-0615 三重県名張市美旗中村2326 TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936
発行責任者:市川知恵子(社会福祉法人名張育成会) 編集責任者:池上祥二(社会福祉法人名張育成会) 編集長:佐伯典昭(株式会社サンエイ) 編集デザイン主任:新井知子(株式会社サンエイ) 題字・イラスト:千秋育子

百合が丘事業所「ワークプレイス葉」が完成!

全景です。向かって左が「Atelier彩」
右が「Café & Gallery輪」
奥が、「ワークプレイス葉」です



事業所全体の正式名称は「ワークプレイス葉(しおり)」と云います。昨年秋の着工以来、ようやく建物やお庭が完成!また、イラストレーター千秋育子さんに、それぞれのロゴを書でユニークに描いていただきました!!

ここでは、障害者の方が働く事を通して社会参加することを支援し、就労機会を創出する事業の運営や、障害があるないに関わらずくつろぎ、アートな語らいが生まれる空間の開放、また障害者アートの本格的な創作活動を支援するアトリエがあります。

みなさんに親しんでいただけるよう精一杯頑張ります。どうか宜しくお願いいたします。



ギャラリー輪は、お庭に向けて大きく開放される扉が特徴。自然と一体となった展示が行えます



天窓からは、光がいっぱい差し込んできます

Café & Gallery 輪(りん)

5月28日にオープンします。

奥は「ギャラリー」として、常設展示のほか、様々な企画展が開催できるスペースとなっています。オープン時には、山梨より染色作家尾白直子氏をお招きし、企画展を開催予定です。(詳しくはブログでお知らせ致します)

百合が丘から、創造性豊かなすばらしいアートを発信していきます。

手前は「カフェ」。大きな窓から注ぐ木漏れ日や、桜の木やお庭の緑と一体になれるヒーリングスポットです。

百合が丘から、アートな語らいが生まれる空間創りを目指していきます。

輪



Atelier 彩(さい)

5月2日にオープンします。

日本でも数少ない障害者アートの創作拠点として、本格的に活動ができる環境を整えています。百合が丘から、世界に認められるすばらしいアーティストが誕生できるよう支援していきます。

彩



葉

ワークプレイス 葉(しおり)

5月2日にオープンします。

ここでは、お弁当の製造販売を活動の拠点とした配食サービスの運営や、障害者の就労支援事業を行います。もちろん、地域の方にご利用いただき、よろこんでいただける施設として、さまざまな工夫も凝らしています。

「ケアホームなつみ」4月1日開所

「パン工房」5月20日にグランドオープンします



名張駅近郊に開所された「ケアホームなつみ」。左手前が食堂です。

ケアホームとは、生活支援を受けながら、障害者の方同士が少人数で暮らしている「住まい」。生活支援員から、食事の世話など生活に必要な支援や相談支援を受けながら、自立に向けて共同生活しています。名張育成園でも、「暮らしサポートゆっくる」という事業所名で、現在16の共同生活住居を運営し、70名ほどの方が利用されています。

さて、その「暮らしサポートゆっくる」に4月1日、新しい家「ケアホームなつみ」が開所し、新たに9名の方が「家族」のように暮らしはじめました。



丁寧に説明いただいた、「暮らしサポートゆっくる」所長 奥留里子さん

この家ですが、実は以前までビジネスホテルであった建物。そのホテルのシングルルーム2部屋を1室に広げました。以前フロントであった場所はリビングとして活用し、バスルームは各部屋に設置されている他に共有浴場も設けるなど、ケアホームに改装して利用しています。

訪問したときは、ちょうど夕食時。みなさん歓談しながら食事をしている様子は、本当の家族のようでした。

また、新年度が始まる4月、新しく2人の入居者がケアホームに仲間入りです。

毎年新しい入居者を迎え、またひとり立ちしていく人を送り出し、、、それぞれの思いに沿った支援を今年度も展開していく事が出来たらと新たな気持ちでスタートです。



グランドオープンが5月20日に決まりました

育成園の森にある「パン工房」は、グランドオープンに向け、今は毎日パン作りに余念がありません！

ここで焼かれるパンは、もちろん防腐剤など使用していません。新鮮で自然にある素材を中心に、中種で一晩低温発酵させるという「ひとてま」をかけて、生地を作っています。

他のメーカーでは、「熟成」だとかいわれているようですね！



焼き上がったばかりの試作の食パン

モチモチ感のある食感。」また、パンの耳がと〜っても美味しいそうですよ！！

焼きたてだと尚更ですから、焼き上がりの時間を確認してからお買い求めになると、最高のパンに巡り合えます！！

焼き上がりの香ばしさに加え、シットリとした、モチモチ感のあるパンは、ととてふルーティ。オープンが楽しみです！！



シットリもちもちで、おいしいですよ！！

だから、「適度に水分が残り、パサつかずしっとり」と焼きあがり。伸びのある

新入職員を38名迎えました

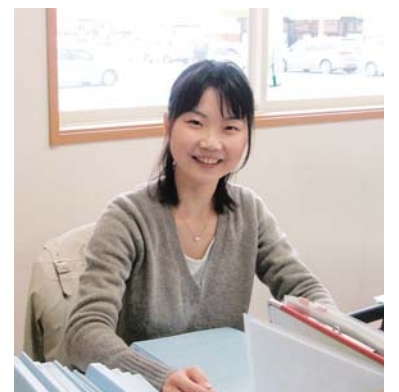
この春高校や大学、また大学院を卒業し初めて社会に出た職員や、他の職場での経験を積んで中途採用された職員など、38名のフレッシュな仲間を迎えました。

所定の新人研修を終えたあと、4月9日に各施設に配属された新入職員は、毎日センパイに鍛えられながら、早く一人前になれるよう実地で学んでいます。

職種は生活支援員の方が大半ですが、臨床心理士等コメディカルスタッフも複数名入職し、育成園の業務内容も更に充実します。

ガンバレ新人！！

新しく入所した新入スタッフ。まだまだ、緊張が解けません。よろしくお願いいたします！！



Art

奈良市にある「たんぼの家アートセンターHANA(財団法人たんぼの家)」のギャラリーで4月15日、「HANAまつり」が開催され、育成園から8作品を出展しました。

今回はその中から、絵画2点をご紹介します



色鉛筆で細かい線をいくつも重ね、すみずみまで丁寧に描かれています。様々な果物をモチーフに、明るい青色が広がる背景には希望が、また茶色いテーブルには包容力が感じられます。その色彩バランスと筆致が、作者のやさしさを表わしていますね。

同じく色鉛筆で描かれた作品です。パステル色に描かれた猫のキャラクターが、手をつないで楽しそうですね！ひまわり畑でのひとコマをイメージされたとか。思わず微笑んでしまう、ととてもほのぼのとする絵です。

